

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第 52 回 IT を活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成 29 年 11 月 1 日（水）10 時 30 分～12 時 20 分

【場 所】以下の 5 拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1 号館 505 号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授、佐藤健一教授、近藤教授、内金崎事務員、（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師、茂庭課長（北海道医療大学）片岡教授、岩根課長（昭和大学）鈴木様（株式会社ピコラボ）鈴木様（金沢電子）

【欠席者】近藤教授（岩手医科大学）、佐藤教授、弘中教授、内海講師、安原講師（昭和大学）

————— 議 事 内 容 —————

報告事項

1. 第 51 回 IT を活用した教育センター会議議事録（案） 資料 1
2. 平成 24 年～28 年度 文部科学省大学間連携共同教育推進事業 IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成 報告書が完成し、印刷中である。
3. 3 大学共通の IT を活用した準備教育（Step1,2）授業進捗報告
4. 研修医向けの IT 教材は今年度中に各 WG の責任者に原案を送り、来年の対面会議で最終決定する。（越野先生）
5. 平成 30 年 6 月老年歯科医学会におけるシンポジウム：IT 教材を一緒に活用する連携校を増やす目的で本取組において作成した臨床実習の準備教材としての IT 教材とそれが各大学における高齢者を対象とした臨床実習でどのような教育成果を挙げたかを報告する。座長は宮崎学部長にお願いする。
6. 3 大学共通試験の準備状況について：今月中に作問の依頼をする。（城先生）
7. 3 大学学生間交流授業の準備状況について：2018 年 1 月 16 日（火）17 時から準備、17 時 30 分から開始する。（越野先生）

検討事項

1. 3 連携大学と 9 歯科医師会との協定書の更新について 資料 2
2. 本取組で開発した IT 教材の活用
取組校、連携歯科医師会以外での活用希望とその対応策
 - 1) 協定書の締結（5 年間更新）と覚書について検討し、後日修正版を作成する。 資料 3
 - 2) オンライン教育システムとその運用について
IT 連携以外の歯科医師会から IT 連携で開発した IT 教材を生涯研修で活用したいという話があった。この要望に対する対応策を検討する。
 - (1) IT 連携で開発した IT 教材を歯科医師会が活用するのは難しいことが予想される。IPad などであり IT が得意でないユーザーが活用するための技術的な方策があるか？
 - (2) IT 教材の履修に際してユーザー登録やユーザーの質問に対する対応は可能か？
 - (3) IT 連携校以外に公開する際のセキュリティについて。
3. その他
 - 1) e-ラーニングコンテンツについて

後半 2014_WG4_page-06、09、10 は平成 23-25 年のデータである（内海講師、昭和大）

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」

第 51 回 IT を活用した教育センター会議 議事録（案）

【日 時】平成 29 年 7 月 26 日（水）11 時～12 時

【場 所】以下の 5 拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1 号館 505 号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席予定者】城教授、佐藤健一教授、内金崎事務員、（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師（北海道医療大学）片岡教授、美島教授、岩根課長（昭和大学）鈴木様（株式会社ピコラボ）鈴木様（金沢電子）

議 事 内 容

報告事項

1. 第 50 回 IT を活用した教育センター会議議事録（案）報告書 （資料 1）
2. 3 大学共通試験について（ブラッシュアップ結果）
3. 3 大学共通の IT を活用した準備教育（Step1、2）マスターコース
4. 平成 28 年度 3 大学ポートフォリオなど回収状況
5. 第 36 回歯科医学教育学会（松本市）における 3 大学教員・学生の交流について
7 月 28 日（金）21 時から 学生発表は 7 月 29 日（土）

検討事項

1. 3 大学共通試験のブラッシュアップ
正答率などの情報を踏まえて、試験問題のブラッシュアップを行った。プロダクトは本会議報告書に記載する予定。これを基に城教授に本年度の試験問題の作成をお願いする。3 大学では今年度から定期試験として紙媒体で実施する予定である。新作問題の依頼は城先生をお願いすることになった。
2. 当該年度の授業に用いる IT 教材のブラッシュアップ（マスターコースへ収載）の決定
8 月 12 日を〆切りとして、「ブラッシュアップコース」のコンテンツを「マスターコース」にコピーすることになり、各大学は所定の場所に置かれた「マスターコース」のコピーを活用して自校の授業コンテンツを作成する。
3. 研修医向けの IT 教材作成の検討
越野教授を中心に今年度内に研修医向けコンテンツ作成を実施する予定である。IT 教材の作成は北海道医療大学 歳桃様のご助力をいただく。

次回 10 月に開催予定

大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定書(案)

昭和大学、北海道医療大学、岩手医科大学、北海道歯科医師会、札幌歯科医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市歯科医師会、東京都大田区蒲田歯科医師会、東京都大田区大森歯科医師会、東京都目黒区歯科医師会、東京都荏原歯科医師会、東京都品川歯科医師会（以下「連携大学等」という。）は、大学間連携共同教育推進事業に基づく大学間の連携取組に関し、次の条項により協定を締結する。

（目 的）

第1条 連携大学等は、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行い、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的とし、大学間の積極的な連携に取り組む。

（内 容）

第2条 連携大学等は、「大学間連携共同教育推進事業」の申請書に基づき、連携取組を確実に実施する。

（期 間）

第3条 本協定は、協定締結の日から効力を生じ、5年間有効とする。

（その他）

第4条 本協定に定めのない事項又は本協定の条項について疑義が生じた場合は、連携大学等が協議し、決定する。

この協定を証するため、本書は12通を作成し、連携大学等が各1通を保有する。

平成 年 月 日

昭和大学長 ○○ ○○

北海道医療大学長 ○○ ○○

岩手医科大学長 ○○ ○○

北海道歯科医師会会長 ○○ ○○

札幌歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都大田区蒲田歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都大田区大森歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都目黒区歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都荏原歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都品川歯科医師会会長 ○○ ○○

岩手県歯科医師会会長 ○○ ○○

盛岡歯科医師会会長 ○○ ○○

覚 書（案）

大学間連携共同教育推進事業に関する運営について、以下のとおり確認する。

（会 議）

- ・必要に応じて「IT を活用した教育センター会議」を開催する
- ・会議の代表者は、昭和大学歯学部教員とする
- ・会議の構成員は、連携大学等の教員、医師、職員の他、IT 教材利用者、システム関連の企業等とする
- ・会議の業務・目的は、事業の運営・改善に関すること並びに予算等に関することを行う

（対面会議）

- ・連携大学等による情報交換、懇親を目的に、対面会議を年 1 回開催する
- ・対面会議の当番は、昭和大学、岩手医科大学、北海道医療大学の 3 大学による持ち回りとする
※平成 29 年度：昭和大学、平成 30 年度：岩手医科大学、平成 31 年度：北海道医療大学
- ・対面会議の代表者は、当番校の教員とする
- ・対面会議の運営に関する費用は、当番校にて負担する
- ・対面会議への参加に係る経費は、連携大学等が各自負担する

（報告書）

- ・対面会議の当番校は、該当年度の報告書を作成する
- ・報告書は連携大学等の他、関連大学、諸団体等へ送付する
- ・報告書作成に関する費用は、当番校の負担とする

（システム）

- ・推進事業共有システム（サーバー）管理については、専門業者に業務委託する
- ・専門業者との業務委託契約については、昭和大学歯学部が代表して行う
- ・推進事業共有システム（サーバー）管理に関する費用負担については、昭和大学、岩手医科大学、北海道医療大学の 3 大学にて按分する
- ・連携大学等が IT 教材の作成・利用に関して発生するシステム運用管理・費用等については、連携大学等で各自行う

（IT 教材の利用）

- ・連携大学等は無償で IT 教材を利用することができる
- ・連携大学等以外が利用する申し出があった場合は、会議において審議する
なお、IT 教材の提供にあたっての費用は無償とする
また、利用環境構築・整備等に関する費用負担が発生した場合は、申請者の負担とする

（構成大学等以外の参加）

- ・連携大学等以外から本推進事業への参加要請があった場合、会議において審議する

(その他)

- ・本覚書に定めのない事項については、連携大学等による協議のうえ、解決するものとする。

平成 年 月 日

昭和大学長 ○○ ○○

北海道医療大学長 ○○ ○○

岩手医科大学長 ○○ ○○

北海道歯科医師会会長 ○○ ○○

札幌歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都大田区蒲田歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都大田区大森歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都目黒区歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都荏原歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都品川歯科医師会会長 ○○ ○○

岩手県歯科医師会会長 ○○ ○○

盛岡歯科医師会会長 ○○ ○○

大学間連携共同教育推進事業の教材等の利用に関する協定書(案)

△△△△と、昭和大学、北海道医療大学、岩手医科大学、北海道歯科医師会、札幌歯科医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市歯科医師会、東京都大田区蒲田歯科医師会、東京都大田区大森歯科医師会、東京都目黒区歯科医師会、東京都荏原歯科医師会、東京都品川歯科医師会（以下「連携大学等」という。）は、大学間連携共同教育推進事業で作成された教材等を利用することについて、次の条項により協定を締結する。

（目的）

第1条 地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行い、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的とし、IT教材等を利用する。

（内容）

第2条 連携大学等は△△△△に対し、本推進事業で作成したIT教材等を無償で提供する。
 2. △△△△は、IT教材等を利用した成果等について、連携大学等に報告する。また、連携大学等が開催する会議等へ参加することができる。
 3. IT教材等の利用環境構築・整備等に関する費用については、△△△△が負担する。

（期間）

第3条 本協定は、協定締結の日から効力を生じ、〇年間有効とする。

（その他）

第4条 本協定に定めのない事項又は本協定の条項について疑義が生じた場合は、△△△△と連携大学等が協議し、決定する。

この協定を証するため、本書を〇通作成し、△△△△と連携大学等にて各1通を保有する。

平成 年 月 日

昭和大学長 ○○ ○○

北海道医療大学長 ○○ ○○

岩手医科大学長 ○○ ○○

北海道歯科医師会会長 ○○ ○○

札幌歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都大田区蒲田歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都大田区大森歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都目黒区歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都荏原歯科医師会会長 ○○ ○○

東京都品川歯科医師会会長 ○○ ○○

岩手県歯科医師会会長 ○○ ○○

盛岡歯科医師会会長 ○○ ○○

発行日 : 2017年10月20日

見積番号: XXX290901

概 算 計 算 書

昭和大学 歯学部 御中

ご担当:小川様

下記の通りお見積り申し上げます。

件 名 : eラーニングシステム、教材収録システム クラウドサービス一式

御提供価格: ¥7,274,880

(消費税別)

納期・ご検収	別途ご相談
納入場所	別途ご相談
見積有効期限	発行日より1か月 ※ご発注前に必ず正式見積りをご依頼ください
支払い条件	納品月末締め翌月末振込

アステック株式会社

システム開発事業部

営業担当:中島 英明

大阪府吹田市豊津町2番30号

江坂ナックビル6F

TEL:(06)6385-5458

FAX:(06)6385-5892

No	商品コード	商品名(規格・仕様)	定価	御提供単価	数量	単位	御社御提供
【manaba course (LMS = Learning Management System)】							
1	-	初期費用	OPEN	1,562,500	1	式	1,562,500
2	-	月額利用料(100IDまで)	OPEN	75,000	12	ヶ月	900,000
3	-	グローバルサイン サイト証明書管理費(1年)	OPEN	78,130	1	式	78,130
4	-	Mediasite 連携	OPEN	781,250	1	式	781,250
【Mediasiteクラウドサービス(教材収録・作成システム クラウドサービス)】							
5	-	初期費用	OPEN	125,000	1	式	125,000
6	-	Mediasiteクラウド 契約(同時接続最大 25ID想定、ストレージ容量 1TB、作成者 10ユーザ)	OPEN	294,000	12	ヶ月	3,528,000
7	-	manaba連携	OPEN	25,000	12	ヶ月	300,000
合計							7,274,880

<備考>

※最低ご契約期間は1年間となります。

※ドメインは各々のサービス提供ベンダーのドメインとなります。

※Mediasiteでの取込はMPEG、WMV、MOV、AVI等のuploadが可能です。配信はmp4形式になります。

※現行Moodleでご利用のコンテンツの移行費用については別途お見積りとさせていただきます。

<http://showa-kataoka.glexa.net/>

ID: s01 か s02

PW: ID と同じ

ログイン画面

Glexa

ログインID パスワード ログイン

パスワードを忘れた方 環境チェック ゲストログイン

© 2016 VERSION2 INC.